

松竹大歌舞伎 パリ公演 大盛況のうちに終演 「日本の華麗な芸術」とパリが絶賛

ジャポニスム 2018 : 響きあう魂



©松竹株式会社

2018年7月よりパリを中心にフランスで開催中の日本文化・芸術の祭典「ジャポニスム 2018 : 響きあう魂」。その約70に及ぶ公式企画のうちの目玉事業の一つ、「松竹大歌舞伎」（主催：国際交流基金、国立シャイヨー劇場、文化庁、共催：フェスティバル・ドートヌヌ・パリ、製作：松竹株式会社、協賛：ANA）が大盛況のうちに終演しました。

パリデビューとなる中村獅童さん及び中村七之助さんを迎えた本公演は、国立シャイヨー劇場のシーズンオープニングとして多くの注目を浴び、千穂楽のカーテンコールは熱いスタンディングオベーションとブラボーの声で迎えられました。目の肥えたパリの観客は「中村獅童演じるユーモラスな僧侶が荒々しく大胆に変化していく姿が印象的だった」「中村七之助演じる姫君の優雅な身振りに見とれた」などと絶賛。19日（水）の千穂楽までに累計約8,000人の観客を魅了しました。

会場となったシャイヨー劇場は、フランス国内にある5つの国立劇場の一つ。1939年に創立され、パリ市内でもプレステージ性が高く、欧州でも権威ある代表的な舞踊劇場文化施設の一つとして知られています。シャイヨー宮内に位置し、エッフェル塔を正面に構える、抜群のロケーションにある劇場です。

フランスにおける歌舞伎の初演は1965年で、七之助さんの祖父、十七世勘三郎さんも参加。今回は11度目の公演となりました。

報道関係者からのお問い合わせ先：

（独）国際交流基金ジャポニスム事務局/ジャポニスム 2018 PR 事務局 株式会社サニーサイドアップ内
担当：浅野憲央（070-3190-3708）、川合遼星、松瀬恵子

住所：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

TEL：03-6894-3201 FAX：03-5413-3050 E-mail：japonismes2018@ssu.co.jp

■フィガロ紙記事（抜粋）

「シャイヨー劇場で、日本の伝統芸能 歌舞伎 2 作品が上演された栄誉」

古典演目 2 作品が、フェスティバル・ドートヌの一環として国立シャイヨー劇場にて上演された。この華麗な芸術がフランスで公演されたのは非常に稀な機会であり、一大イベントである。

■フィガロスコープ誌（抜粋）

「シャイヨー劇場で松竹大歌舞伎が上演」

歌舞伎は文字通り、歌、舞、演技から構成されるもので、この芸能においては姿勢や立ち居振る舞いの細部にこそ重きが置かれる。（中略）今回のプログラムは、豪快な技の魅力と、繊細な表現の美しさが双璧をなす傑作である。

■上演演目

『色彩間苺豆（いろもようちよつかりまめ） かさね』

下総国羽生村の木下川（きねがわ）堤で、与右衛門と腰元かさねは道ならぬ恋の末、心中を決意。そこへ、草刈鎌が突き刺さった髑髏と卒塔婆が川面に流れてきます。かつて自らが殺めた男の髑髏と気付いた与右衛門が、鎌を引き抜いて髑髏を割ると、かさねが顔を押えて苦しみます…。美男美女ふたりの風情を描く前半、後半の立廻りと殺しの場、さらにはかさねが怨霊と化して与右衛門を引き戻すクライマックスと、全編に歌舞伎の様式美が溢れる舞踊劇の名作です。

『鳴神（なるかみ）』

平安時代、朝臣に恨みを抱いた鳴神上人は、世界中の龍神を滝壺に封じ込め、その結果雨が一滴も降らなくなりました。そこで、鳴神上人の行法を破り雨を降らせるべく、帝は雲の絶間姫を鳴神上人のもとに差し向けますが…。美貌の雲の絶間姫の色香によって高僧である鳴神上人が墮落、破戒する分かりやすい筋立てで、男女の愛欲情痴を描き出します。前半は古風でおおらかな台詞劇、後半は豪快な荒事と見どころの多い一幕です。

■公演日程

2018年9月13日（木）～19日（水） ※フランス時間9月19日（水） 20：30 千穂楽

■映像・画像（報道向け提供素材）

・記録映像（約10分）

※白素材とテキスト情報をご提供いたします。指定のクレジットを記載ください。

※プレビューはこちらからご覧いただけます。（テキスト入り）

<https://www.youtube.com/watch?v=FsOsnWXJuJs>

・写真

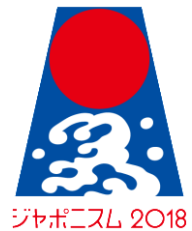
※記録映像、写真ともに別途申請書をご提出いただけます。

■松竹歌舞伎美人レポート

こちらからお読みいただけます。

「パリ「松竹大歌舞伎」、喝采で迎えられた獅童、七之助」

<http://www.kabuki-bito.jp/news/4964>



ジャポニスム 2018

■ジャポニスム 2018 について

「ジャポニスム 2018：響きあう魂」では、パリ内外の100近くの会場で、展覧会や舞台公演に加えて、さまざまな文化芸術を約8ヶ月間にわたって紹介する、日本文化・芸術の祭典です。

古くは日本文化の原点とも言える縄文から伊藤若中、琳派、そして最新のメディア・アート、アニメ、マンガまで、さらには歌舞伎から現代演劇や初音ミクまで、日本文化の多様性に富んだ魅力を紹介します。同時に、

食や祭りなど日本人の日常生活に根差した文化をテーマにした交流イベントなど、会期を通じ約70の公式企画を実施します。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を前に、日本各地の魅力をパリに向け、またパリを通して世界に向けて発信します。

さらに日本国内における広報活動を通じて、日本文化を再発見できる機会も作っていきます。

報道関係者からのお問い合わせ先：

（独）国際交流基金ジャポニスム事務局/ジャポニスム 2018 PR 事務局 株式会社サニーサイドアップ内

担当：浅野憲央（070-3190-3708）、川合遼星、松瀬恵子

住所：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

TEL：03-6894-3201 FAX：03-5413-3050 E-mail：japonismes2018@ssu.co.jp